

奈良市・奈良市教育委員会
「奈良市スポーツ・文化芸術活動」に関する
アンケート調査結果

令和 8 年 9 月
奈良市・奈良市教育委員会

目 次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査について.....	3
3 回答状況.....	3
4 調査結果の見方について	4
5 回答者の内訳	4
第2章 調査結果.....	5
1 現在の活動について	5
2 活動への困りごとや不安について	7
3 興味のある活動について.....	8
4 活動の目的・志向・条件について.....	15
第3章 自由記述のまとめ	19
1 記入状況	19
2 テーマ別の件数.....	19
第4章 調査結果のまとめ	20

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

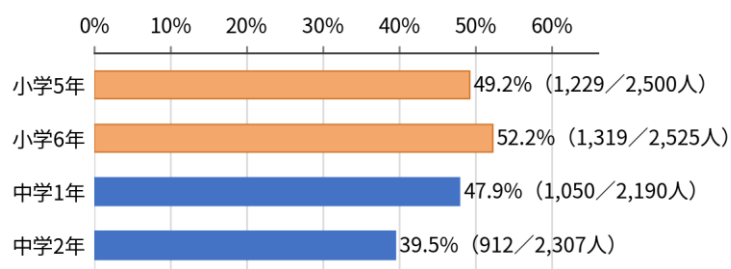
放課後や休日のスポーツ・文化芸術活動について、子どもたちが何に興味をもち、どのような参加のしかたを望んでいるかを把握し、今後の「奈良市スポーツ・文化芸術活動」をより充実させるための参考とすることを目的としています。

2 調査について

- (1) 調査対象 奈良市立小学校第 5・6 学年児童、市立中学校第 1・2 学年生徒
- (2) 対象数 小学 5 年 2,500 人／小学 6 年 2,525 人
中学 1 年 2,190 人／中学 2 年 2,307 人
計 9,522 人 (令和 8 年 4 月 1 日時点)
- (3) 調査方法 Google フォームによるオンライン回答(GIGA スクール端末等を利用)
- (4) 調査期間 令和 8 年 7 月 17 日(金)～8 月 31 日(月)

3 回答状況

学年	対象数(人)	回答数(人)	回答率(%)
小学 5 年	2,500	1,229	49.2
小学 6 年	2,525	1,319	52.2
中学 1 年	2,190	1,050	47.9
中学 2 年	2,307	912	39.5
合計	9,522	4,510	47.4



小学生の回答数は 2,548 人(回答率 50.7%)、中学生は 1,962 人(同 43.6%)です。

4 調査結果の見方について

- (1) グラフ・表の「n」は、質問に対する回答者数を表しています。
- (2) 調査結果の数値については、小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳を合計しても 100%にならない場合があります。
- (3) 合計値は、四捨五入前の数値から算出しています。このため、グラフに表示している値を足した数値と 0.1 ポイント程度異なる場合があります。
- (4) 回答を 3 つまで選ぶ設問(問 4・問 5・問 8・問 10)は複数回答のため、割合の合計は 100%を超えます。
- (5) 小学生と中学生は混在させず、学校段階別に集計・掲載しています。
- (6) 各項目のグラフは、中学生の割合が高い順に並べています。
- (7) 問 7 は、問 6 で選んだ分野の中から活動を選ぶ設問であり、全分野を横断した選択結果ではありません。

5 回答者の内訳

問 1 学年を回答してください。

問 2-1 学校名を回答してください。(回答状況の確認に用い、学校別の集計は掲載していません)

学年	回答数(人)	割合(%)
小学 5 年	1,229	27.3
小学 6 年	1,319	29.2
中学 1 年	1,050	23.3
中学 2 年	912	20.2
合計	4,510	100.0

第2章 調査結果

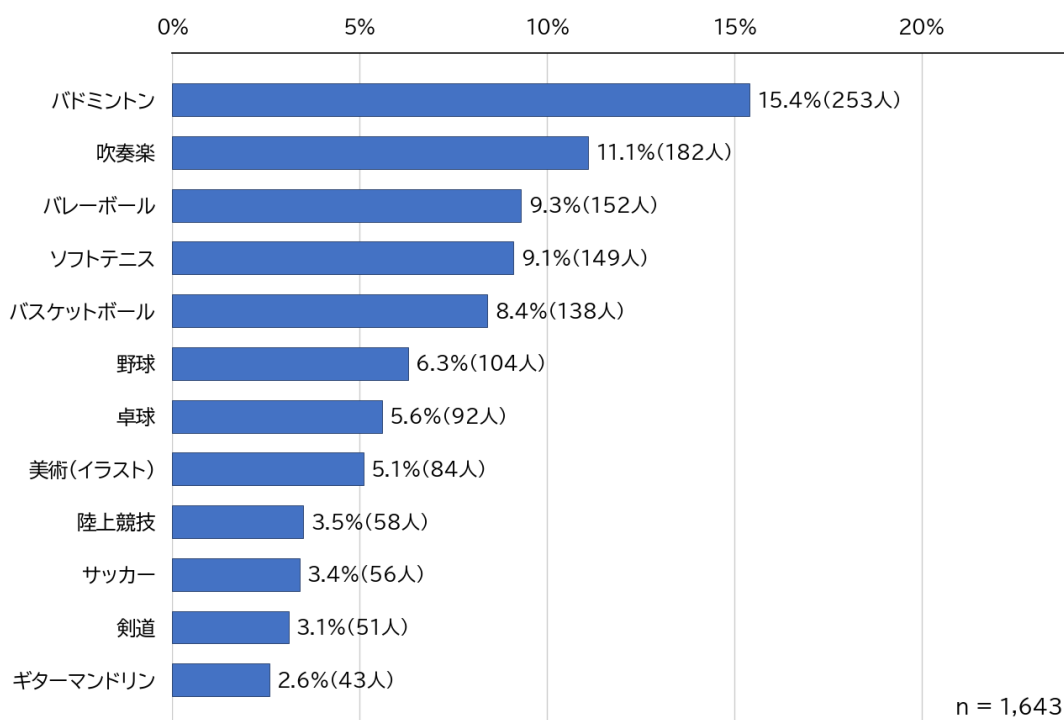
1 現在の活動について

問 2-2 あなたは、現在「奈良市スポーツ・文化芸術活動(部活動)」に参加していますか。複数参加している場合は、主に活動している1つを選択します。(中学生のみ)

中学生 1,962 人のうち、「参加している」(活動名を回答)は 83.7%(1,643 人)、「参加していない」は 16.3%(319 人)となっています。

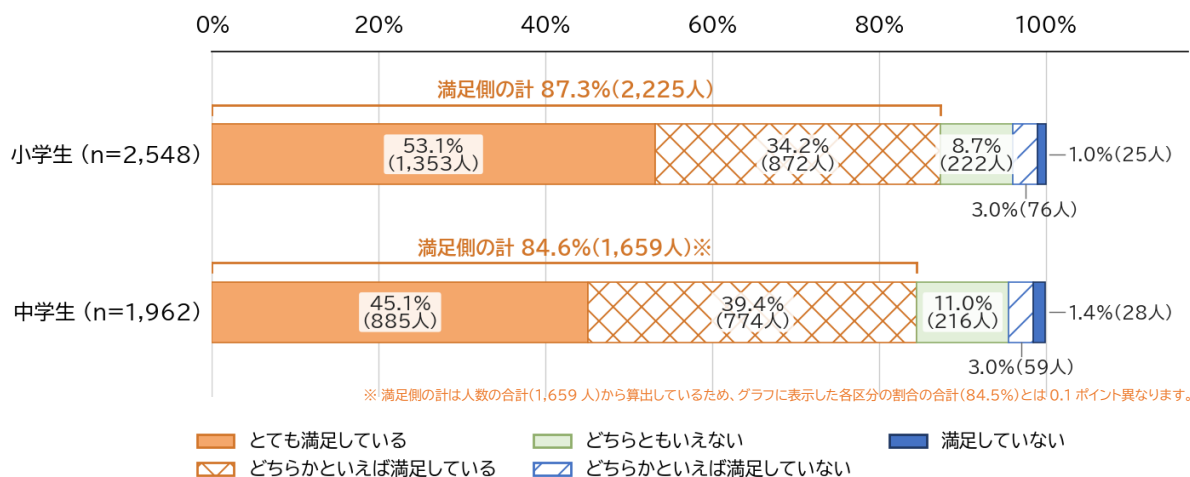


参加している活動は、「バドミントン」が 15.4%(253 人)と最も高く、次いで「吹奏楽」が 11.1%(182 人)、「バレーボール」が 9.3%(152 人)となっています(上位 12 活動)。



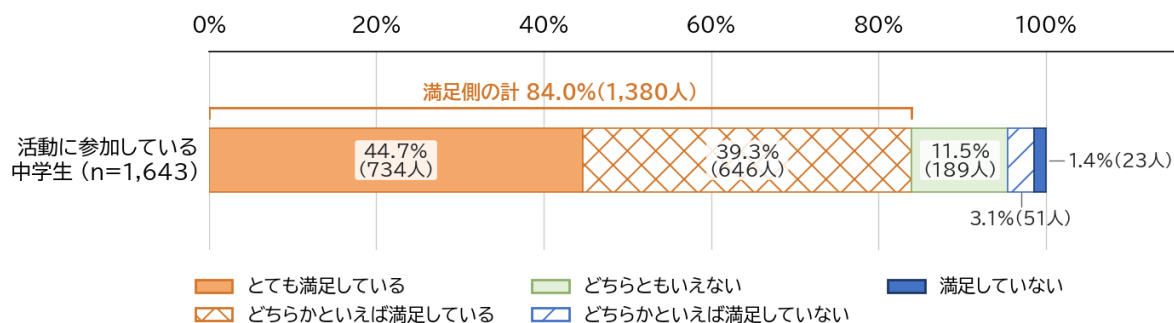
問 3 現在の放課後や休日の過ごし方に満足していますか。

「とても満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合は、小学生で 87.3% (2,225 人)、中学生で 84.6% (1,659 人) となっています。「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせた割合は、小学生で 4.0% (101 人)、中学生で 4.4% (87 人) です。



(参考)活動に参加している中学生の満足度(問 3×問 2-2)

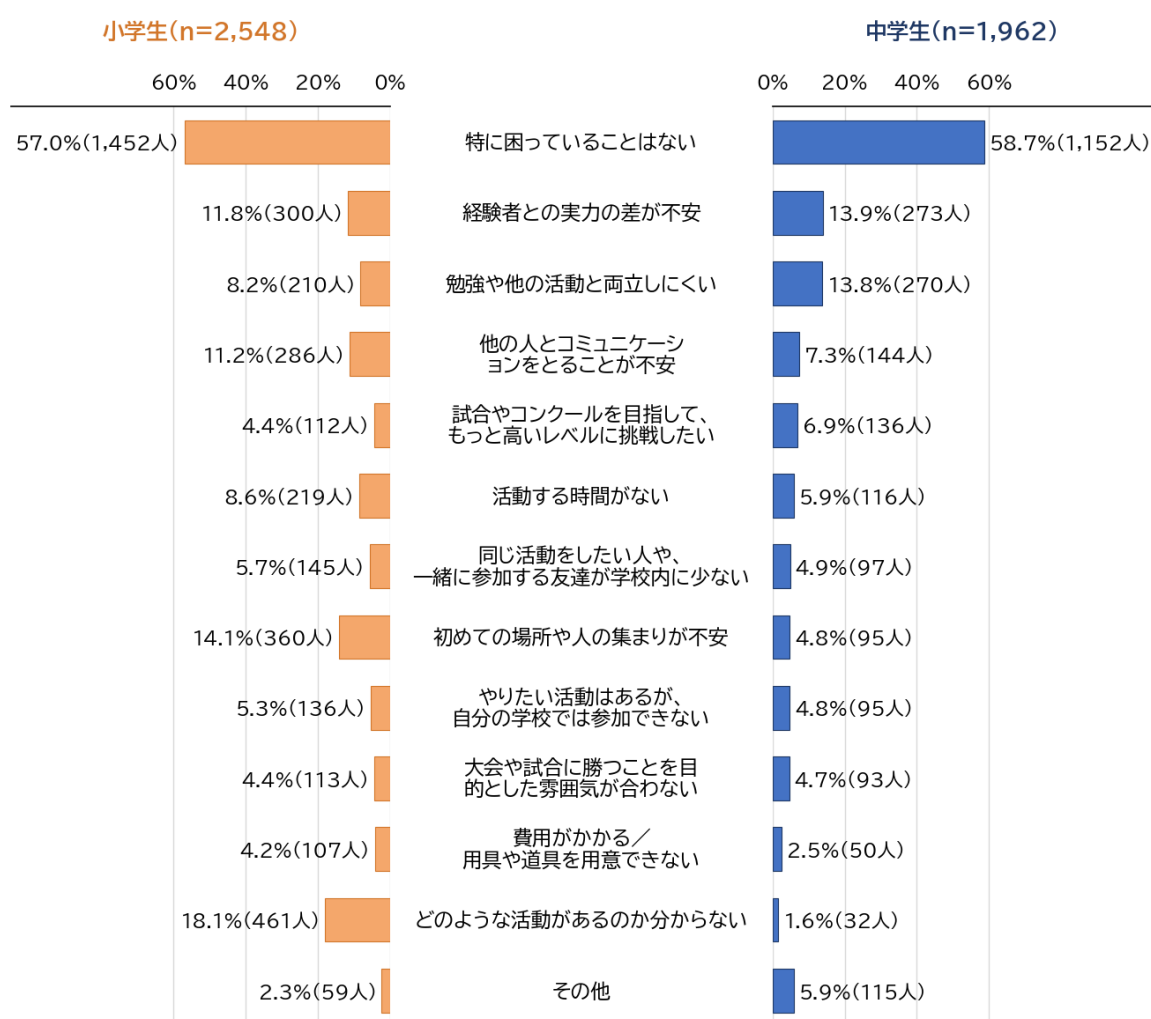
活動に参加している中学生(n=1,643)についてみると、「とても満足している」が 44.7% (734 人)、「どちらかといえば満足している」が 39.3% (646 人)で、満足側の合計は 84.0% (1,380 人) となっています。「どちらかといえば満足していない」(3.1% (51 人))と「満足していない」(1.4% (23 人))の合計は 4.5% (74 人)です。なお、問 3 は活動そのものへの満足度ではなく、活動への参加も含めた放課後や休日の過ごし方全般についてたずねた設問です。



2 活動への困りごとや不安について

問4 スポーツ・文化芸術活動に参加するにあたり、困っていることや不安に感じることを3つまで選んでください。

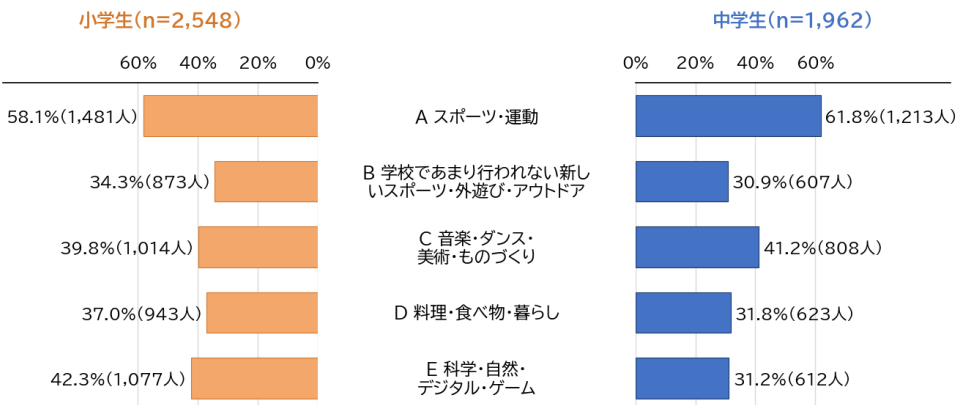
「特に困っていることはない」と回答したのは小学生で 57.0%(1,452 人)、中学生で 58.7%(1,152 人)となっています。それ以外の項目では、小学生では「どのような活動があるのか分からない」が 18.1%(461 人)と最も高く、次いで「初めての場所や人の集まりが不安」が 14.1%(360 人)となっています。中学生では「経験者との実力の差が不安」が 13.9%(273 人)、「勉強や他の活動と両立しにくい」が 13.8%(270 人)と高くなっています。また、中学生では「やりたい活動はあるが、自分の学校では参加できない」が 4.8%(95 人)、「大会や試合に勝つことを目的とした雰囲気が合わない」が 4.7%(93 人)となっています。



3 興味のある活動について

問 5 放課後や休日に、興味がある活動の分野を 3 つまで選んでください。

小学生・中学生とも「A スポーツ・運動」が最も高く(小学生 58.1%(1,481 人)、中学生 61.8%(1,213 人))、次いで小学生では「E 科学・自然・デジタル・ゲーム」が 42.3%(1,077 人)、中学生では「C 音楽・ダンス・美術・ものづくり」が 41.2%(808 人)となっています。



(参考)選んだ分野の数(問 5)

興味がある分野を 2 つ以上選んだ回答は小学生 66.4%(1,691 人)、中学生 61.4%※(1,204 人)で、3 つを選んだ回答は小学生 45.1%(1,149 人)、中学生 35.5%(697 人)となっています。

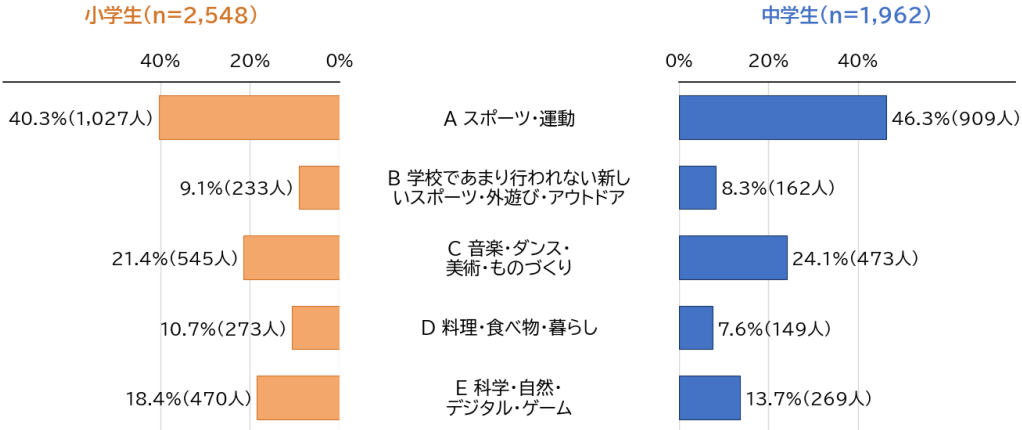
選んだ分野の数	小学生(n=2,548)	中学生(n=1,962)
1 分野	33.6%(857 人)	38.6%(758 人)
2 分野	21.3%(542 人)	25.8%(507 人)
3 分野	45.1%(1,149 人)	35.5%(697 人)

※ 2 分野以上を選んだ中学生の人数の合計(1,204 人)から算出しているため、グラフに表示した各区分の割合の合計(61.3%)とは 0.1 ポイント異なります。

問 6 問 5 で選んだ中から、最も興味がある分野を 1 つ選んでください。

興味がある分野を1つ選んでもらう設問では、「A スポーツ・運動」が最も高く、小学生 40.3%(1,027 人)、中学生 46.3%(909 人)でした。A 以外の 4 分野の合計は小学生 59.7%※(1,521 人)、中学生 53.7%(1,053 人)と、いずれも半数を超えています。

※ 「A スポーツ・運動」以外の 4 分野を選んだ小学生の人数合計(1,521 人)から算出しているため、グラフに表示した各区分の割合の合計(59.6%)とは 0.1 ポイント異なります。



問 7 この分野で、特にやってみたい活動を 3 つまで選んでください。

問 7 は、問 6 で選んだ分野に応じた選択肢の中から回答する設問です。以下、分野ごとに、その分野を問 6 で選んだ回答者を基数として掲載します。選択肢にない自由記述の回答は、『その他』としてまとめて集計しています。

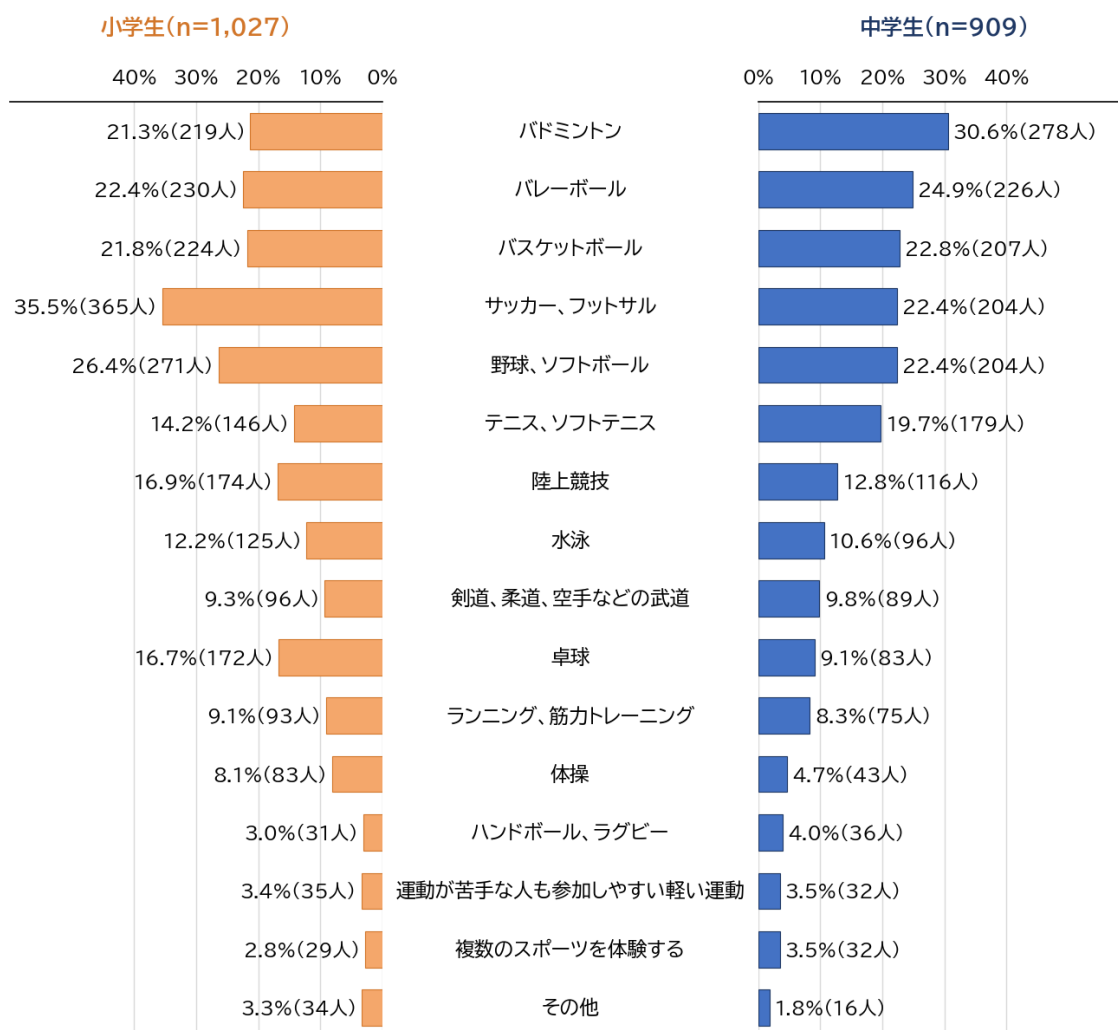
分野ごとの上位 3 活動は次のとおりです。B・D・E の分野では、「釣り」「キャンプ」「お菓子、ケーキ、デザート作り」「ゲーム、アプリ、ウェブサイト制作」などが上位に挙がっています。

分野(小学生・基数)	第 1 位	第 2 位	第 3 位
A スポーツ・運動 (n=1,027)	サッカー、フットサル 35.5%(365 人)	野球、ソフトボール 26.4%(271 人)	バレーボール 22.4%(230 人)
B 新しいスポーツ・外遊び 等(n=233)	釣り 46.4%(108 人)	ボウリング 31.8%(74 人)	キャンプ 31.3%(73 人)
C 音楽・ダンス・美術等 (n=545)	絵画、イラスト、漫画 36.1%(197 人)	アクセサリ、手芸、編み物 23.5%(128 人)	アニメーション、キャラクター デザイン 17.6%(96 人)
D 料理・食べ物・暮らし等 (n=273)	お菓子、ケーキ、デザート作り 72.2%(197 人)	料理 53.8%(147 人)	パン、ピザ作り 33.7%(92 人)
E 科学・自然・デジタル等 (n=470)	ゲーム、アプリ、ウェブサイト 制作 34.3%(161 人)	科学実験 30.2%(142 人)	e スポーツ、ゲーム大会 27.9%(131 人)

分野(中学生・基数)	第 1 位	第 2 位	第 3 位
A スポーツ・運動 (n=909)	バドミントン 30.6%(278 人)	バレーボール 24.9%(226 人)	バスケットボール 22.8%(207 人)
B 新しいスポーツ・外遊び 等(n=162)	釣り 38.3%(62 人)	キャンプ 32.1%(52 人)	ボウリング 31.5%(51 人)
C 音楽・ダンス・美術等 (n=473)	絵画、イラスト、漫画 29.8%(141 人)	吹奏楽 29.6%(140 人)	ギター、ベース 19.7%(93 人)
D 料理・食べ物・暮らし等 (n=149)	お菓子、ケーキ、デザート作り 77.9%(116 人)	料理 65.8%(98 人)	パン、ピザ作り 32.9%(49 人)
E 科学・自然・デジタル等 (n=269)	ゲーム、アプリ、ウェブサイト 制作 35.7%(96 人)	e スポーツ、ゲーム大会 29.7%(80 人)	科学実験 27.9%(75 人)

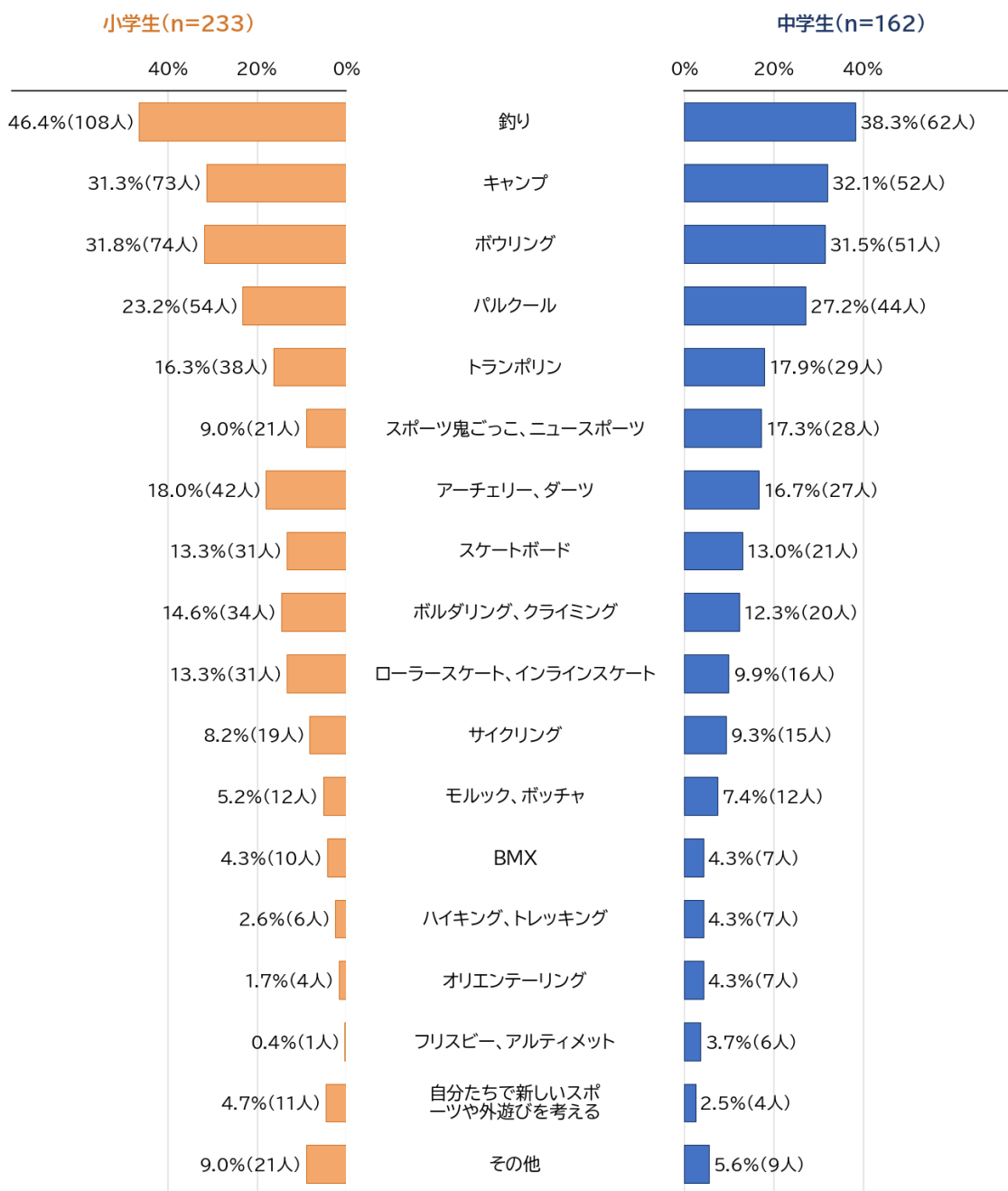
(1)A スポーツ・運動を選んだ回答者

小学生(n=1,027)では「サッカー、フットサル」が 35.5%(365 人)と最も高く、次いで「野球、ソフトボール」が 26.4%(271 人)となっています。中学生(n=909)では「バドミントン」が 30.6%(278 人)と最も高く、次いで「バレーボール」が 24.9%(226 人)となっています。



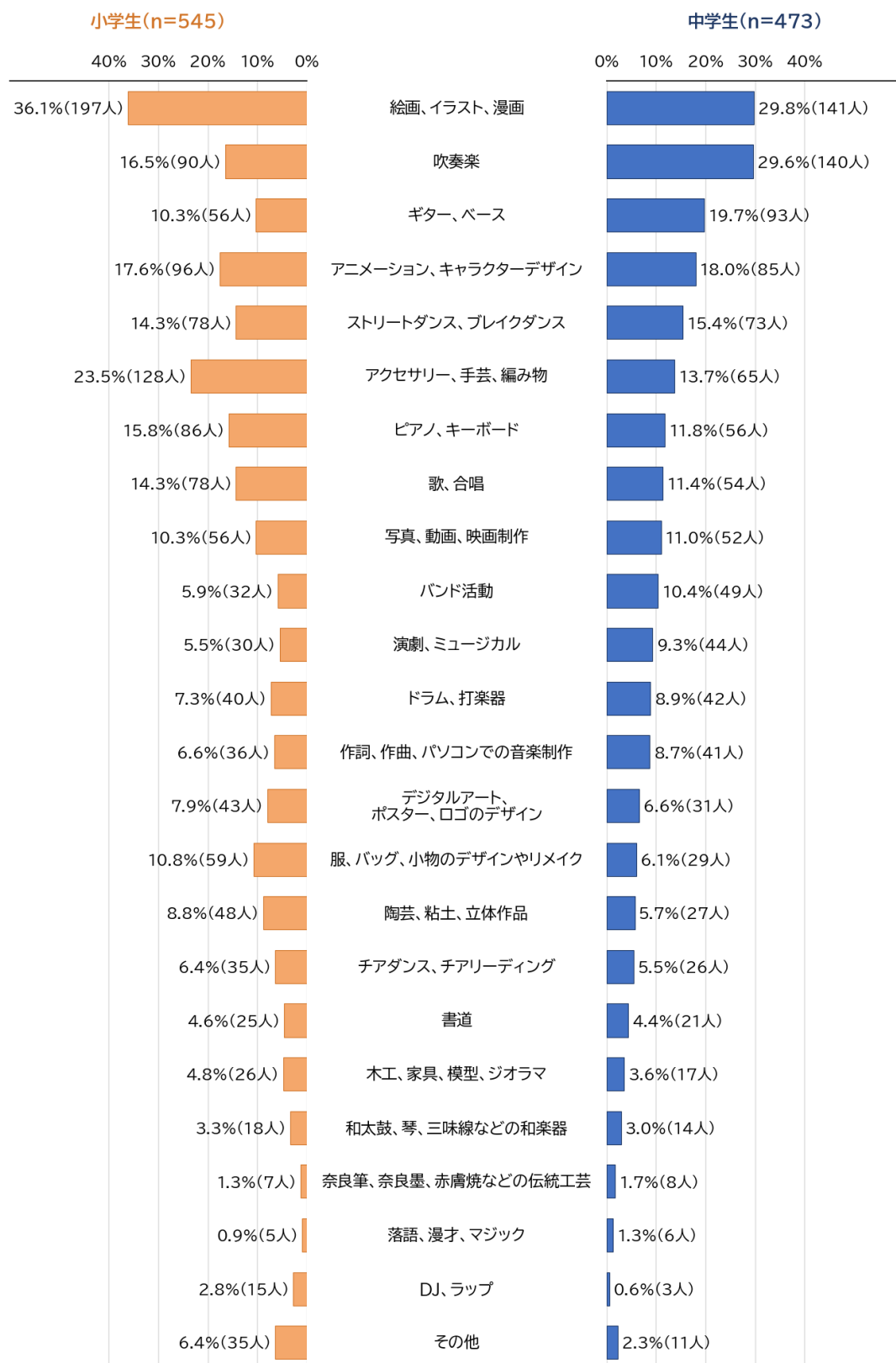
(2)B 学校であまり行われなない新しいスポーツ・外遊び・アウトドアを選んだ回答者

小学生(n=233)では「釣り」が46.4%(108人)と最も高く、次いで「ボウリング」が31.8%(74人)となっています。中学生(n=162)では「釣り」が38.3%(62人)と最も高く、次いで「キャンプ」が32.1%(52人)となっています。



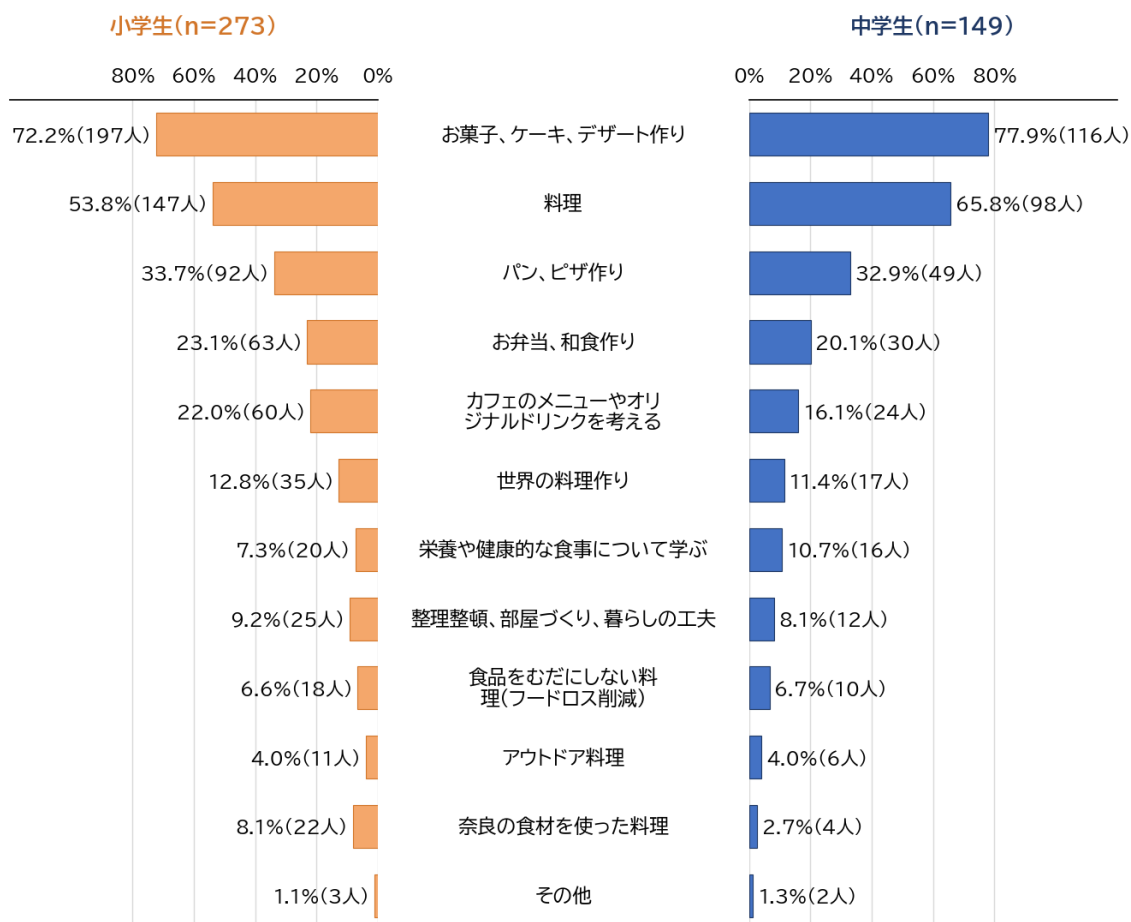
(3)C 音楽・ダンス・美術・ものづくりを選んだ回答者

小学生(n=545)では「絵画、イラスト、漫画」が 36.1%(197 人)と最も高く、次いで「アクセサリ、手芸、編み物」が 23.5%(128 人)となっています。中学生(n=473)では「絵画、イラスト、漫画」が 29.8%(141 人)と最も高く、次いで「吹奏楽」が 29.6%(140 人)となっています。



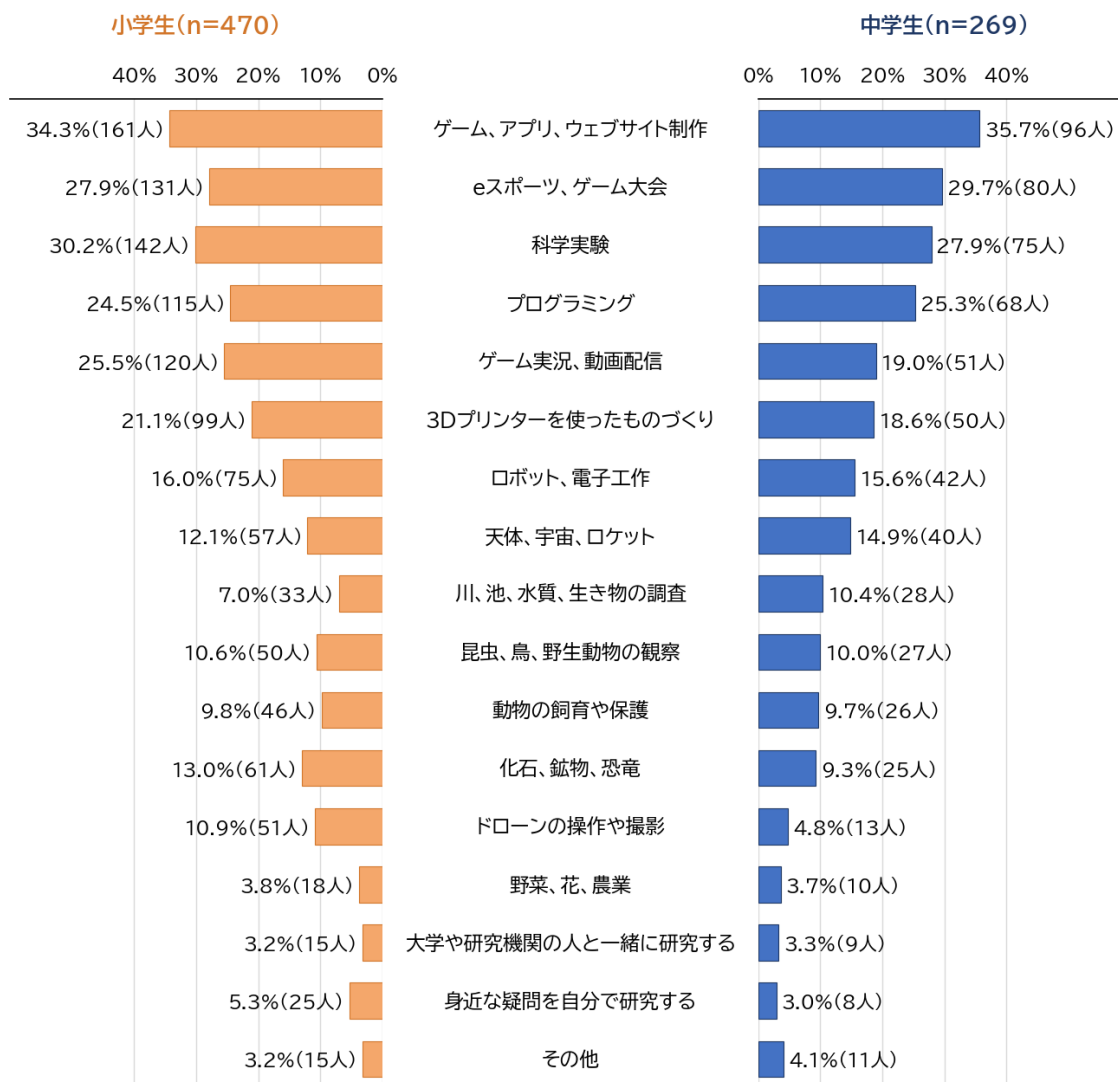
(4)D 料理・食べ物・暮らしを選んだ回答者

小学生(n=273)では「お菓子、ケーキ、デザート作り」が72.2%(197人)と最も高く、次いで「料理」が53.8%(147人)となっています。中学生(n=149)では「お菓子、ケーキ、デザート作り」が77.9%(116人)と最も高く、次いで「料理」が65.8%(98人)となっています。



(5)E 科学・自然・デジタル・ゲームを選んだ回答者

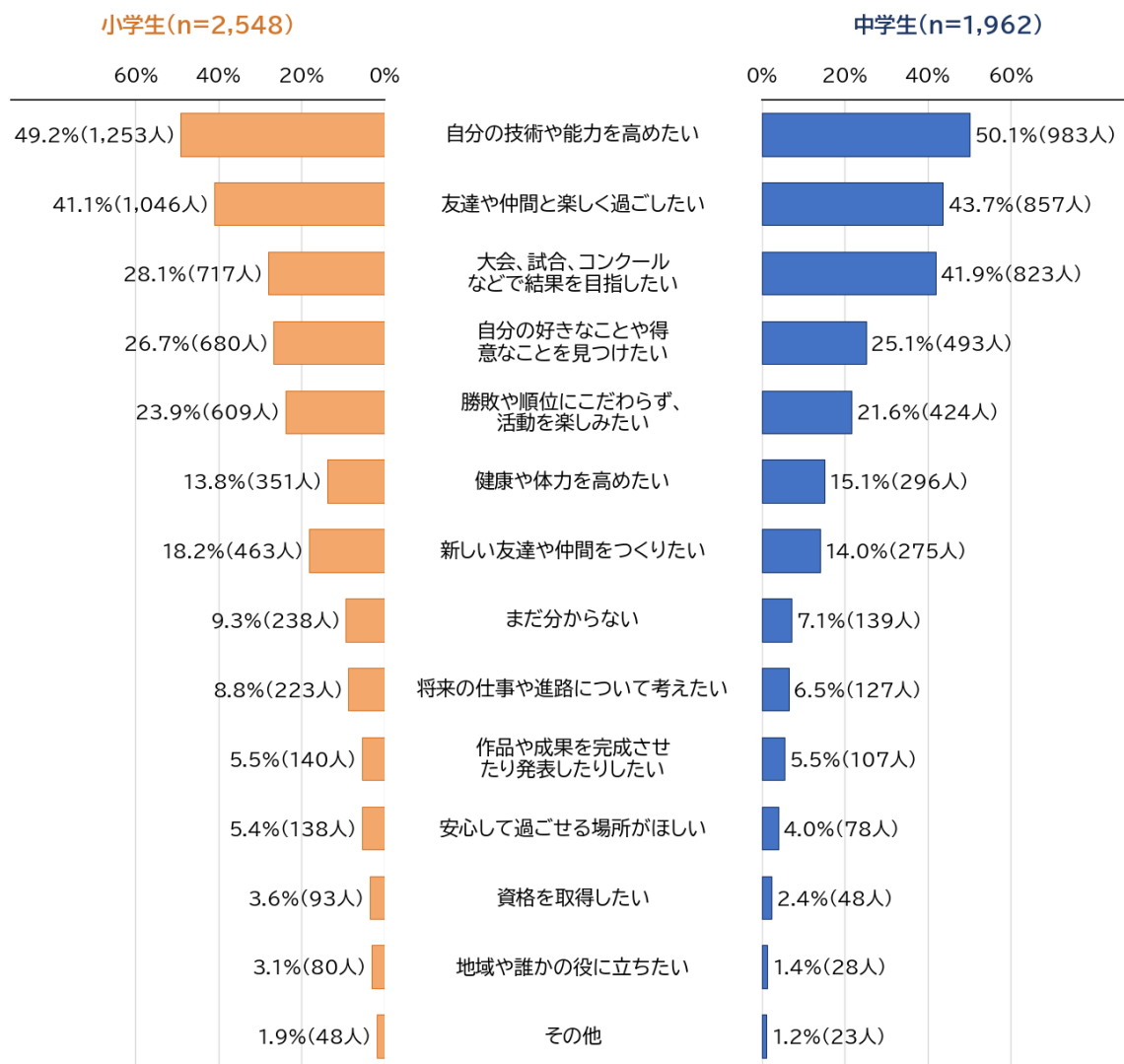
小学生(n=470)では「ゲーム、アプリ、ウェブサイト制作」が 34.3%(161 人)と最も高く、次いで「科学実験」が 30.2%(142 人)となっています。中学生(n=269)では「ゲーム、アプリ、ウェブサイト制作」が 35.7%(96 人)と最も高く、次いで「e スポーツ、ゲーム大会」が 29.7%(80 人)となっています。



4 活動の目的・志向・条件について

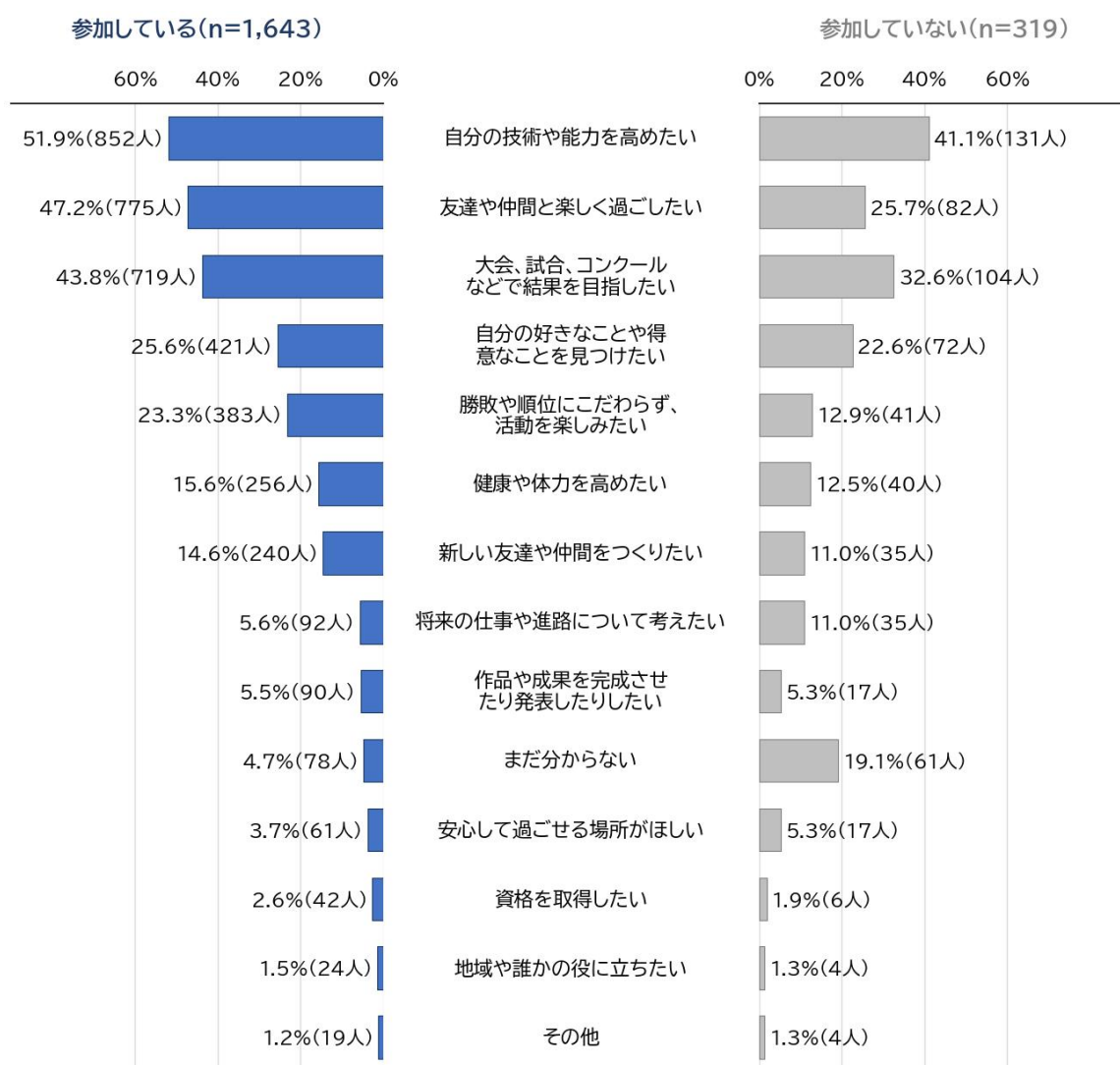
問 8 活動に、どのような目的で参加したいですか。3 つまで選んでください。

小学生・中学生とも「自分の技術や能力を高めたい」が最も高く(小学生 49.2%(1,253 人)、中学生 50.1%(983 人))、次いで「友達や仲間と楽しく過ごしたい」(小学生 41.1%(1,046 人)、中学生 43.7%(857 人))となっています。「大会、試合、コンクールなどで結果を目指したい」は小学生 28.1%(717 人)、中学生 41.9%(823 人)と中学生で高くなっています。



(参考)活動への参加の有無別にみた目的(問 8×問 2-2・中学生)

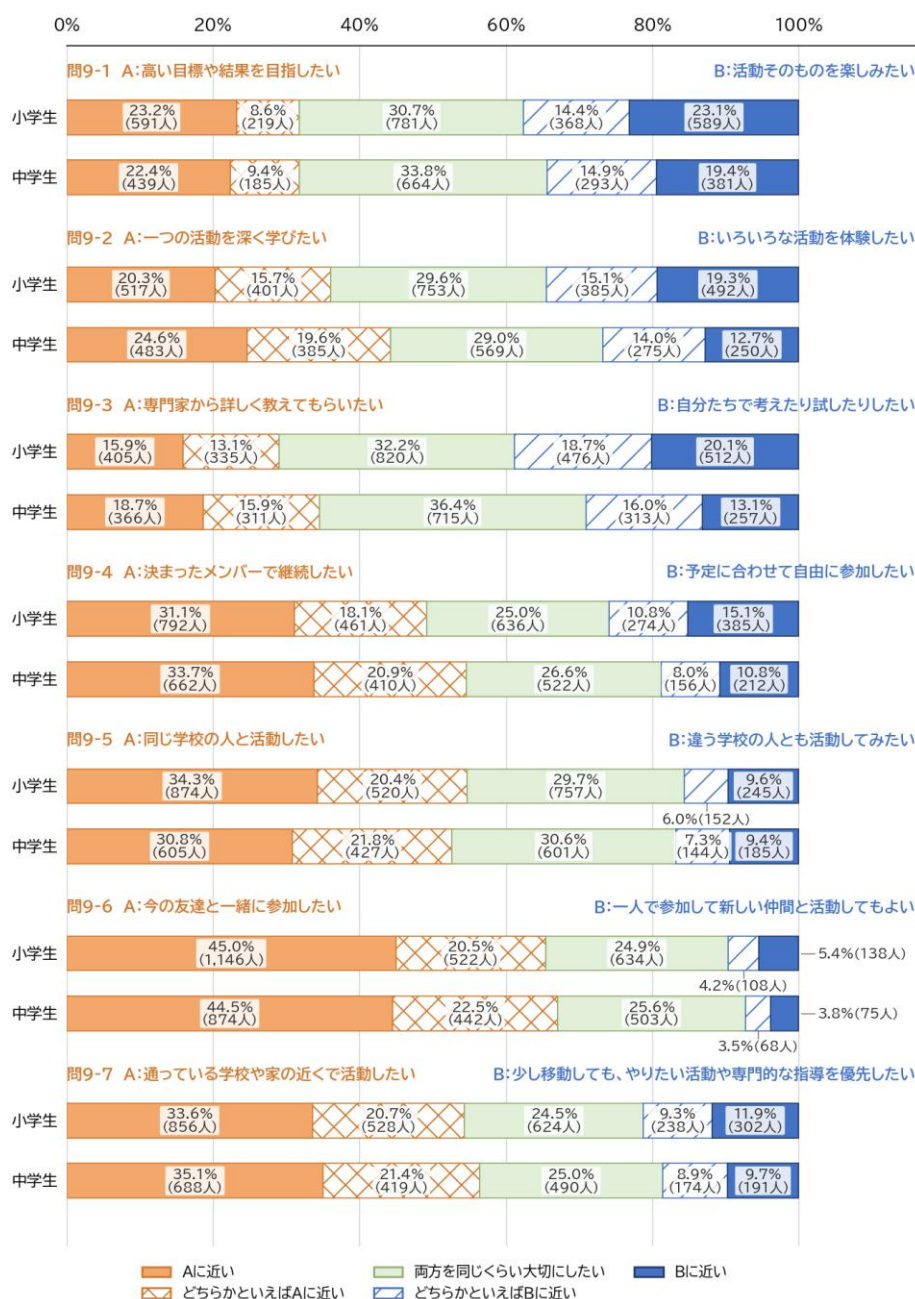
活動に参加している中学生(n=1,643)では「自分の技術や能力を高めたい」が 51.9%(852 人)、「友達や仲間と楽しく過ごしたい」が 47.2%(775 人)、「大会、試合、コンクールなどで結果を目指したい」が 43.8%(719 人)となっています。参加していない中学生(n=319)では「自分の技術や能力を高めたい」が 41.1%(131 人)、「大会、試合、コンクールなどで結果を目指したい」が 32.6%(104 人)、「友達や仲間と楽しく過ごしたい」が 25.7%(82 人)で、「まだ分からない」が 19.1%(61 人)と、参加している中学生(4.7%(78 人))より高くなっています。



問 9 対になる二つの考え方のどちらに近いですか。

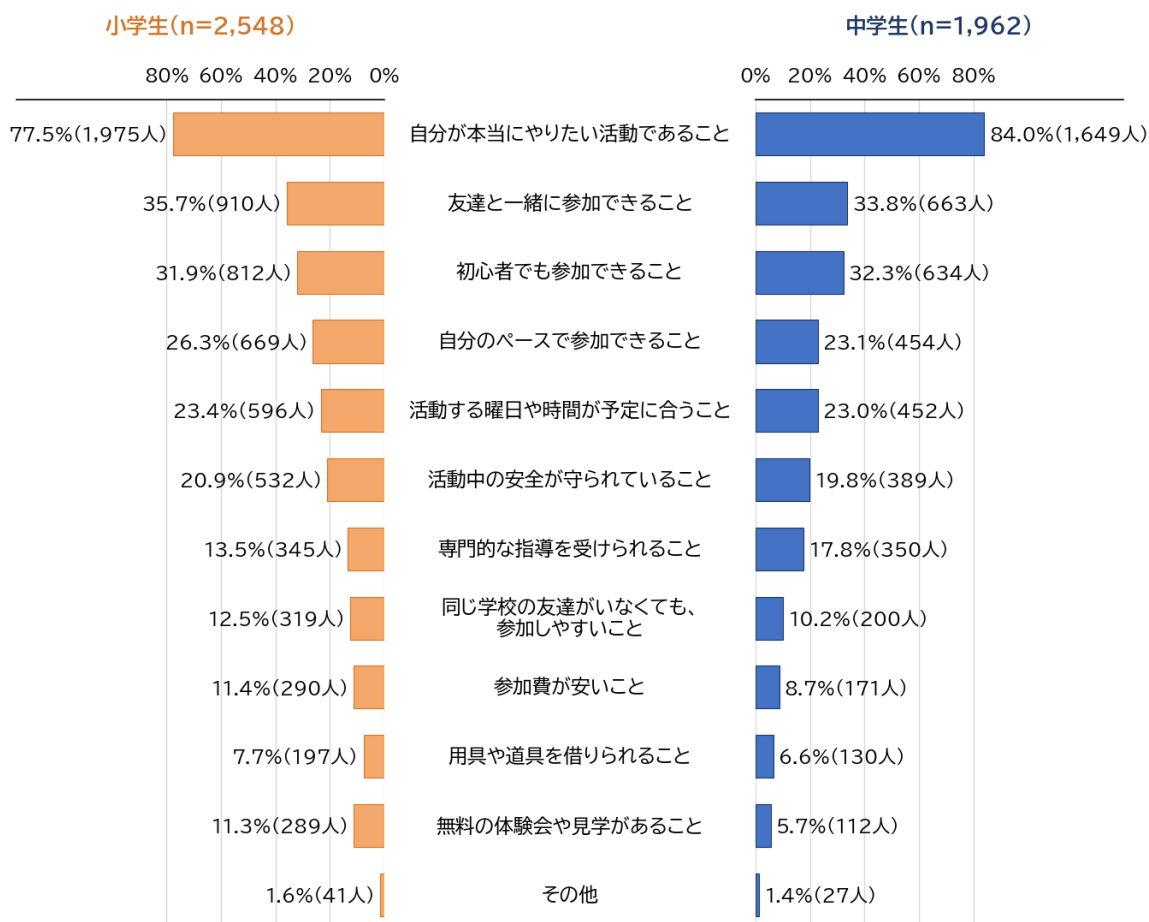
各設問について、二つの考え方をA・Bとして示しています。9-1「A:高い目標や結果を目指したい、B:活動そのものを楽しみたい」という設問においては、「Aに近い」と「どちらかといえばAに近い」を合わせた割合は、小学生 31.8%(810人)・中学生 31.8%(624人)、「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」を合わせた割合は小学生 37.6%※(957人)・中学生 34.4%※(674人)となっています。9-2「A:一つの活動を深く学びたい、B:いろいろな活動を体験したい」では、A 寄りの回答が小学生 36.0%(918人)・中学生 44.2%(868人)、B 寄りの回答が小学生 34.4%(877人)・中学生 26.8%※(525人)です。9-1では、「両方を同じくらい大切にしたい」も小学生 30.7%(781人)、中学生 33.8%(664人)と 3 割合を占めており、特に中学生では三つの区分の差が小さくなっています。

※「Bに近い」と「どちらかといえばBに近い」と回答した小・中学生の人数の合計から算出しているため、グラフに表示した各区分の割合の合計とは 0.1 ポイント異なります。



問 10 活動を選ぶときに、大切だと思う条件を 3 つまで選んでください。

小学生・中学生とも「自分が本当にやりたい活動であること」が最も高く(小学生 77.5%(1,975 人)、中学生 84.0%(1,649 人))、次いで「友達と一緒に参加できること」(小学生 35.7%(910 人)、中学生 33.8%(663 人))、「初心者でも参加できること」(小学生 31.9%(812 人)、中学生 32.3%(634 人))となっています。



第3章 自由記述のまとめ

1 記入状況

問 11「このような活動があれば参加したい」という意見など(任意回答・自由記述)には、小学生 63.9%(1,629 人)、中学生 46.1%(904 人)から記入がありました。「特になし」等の記述を除くと、小学生 1,418 件、中学生 675 件です。

区分	記入数(人)	記入率(%)
小学生	1,629	63.9
中学生	904	46.1
合計	2,533	56.2

2 テーマ別の件数

実質的な記述をキーワードにより分類した結果は次のとおりです。「具体的な活動・種目への参加希望」が小学生 47.6%(675 件)、中学生 54.5%(368 件)と最も多く、次いで「楽しさ・自分のペース」が小学生 10.7%(152 件)、中学生 10.2%(69 件)となっています。

テーマ	小学生(件)	割合	中学生(件)	割合
具体的な活動・種目への参加希望 (プログラミングの活動があれば参加したい、バレーボールがしたい 等)	675	47.6%	368	54.5%
楽しさ・自分のペース (みんなが楽しくできる活動、気軽にできるスポーツ 等)	152	10.7%	69	10.2%
初心者・体験 (様々な競技を体験できる活動、初心者でも緊張せずに参加できる活動 等)	110	7.8%	44	6.5%
専門的な指導 (プロ選手に教えてもらいたい、専門的な技術を学べる場 等)	91	6.4%	59	8.7%
友達・交流 (友達と一緒に参加できる、他校との合同練習 等)	87	6.1%	39	5.8%
費用・移動・場所 (学校の近くにあれば、無料の送迎バス、部費が安いこと 等)	58	4.1%	21	3.1%
時間・両立 (一時間程度で終わる料理教室、活動時間を増やしてほしい 等)	27	1.9%	22	3.3%
安全・暑さ (安全なスポーツ、夏が暑い 等)	13	0.9%	7	1.0%

※ 一つの記述が複数のテーマに該当する場合があります。割合は実質的な記述件数(小学生 1,418 件・中学生 675 件)に対する割合です。

第4章 調査結果のまとめ

本調査に回答した児童生徒の傾向から、次の4点が読み取れます。

1 放課後・休日の過ごし方について、肯定的な回答が多くみられます。

放課後や休日の過ごし方に「とても満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合は、小学生で87.3%、中学生で84.6%でした。また、現在の活動に参加している中学生に限定しても84.0%となっています。ただし、この結果は放課後・休日の過ごし方全般についての回答であり、活動そのものへの満足度を示すものではありません。

2 子どもたちの関心は、多様な分野に広がっています。

興味のある分野を2つ以上選んだ割合は、小学生で66.4%、中学生で61.4%でした。スポーツ・運動に加え、音楽・美術・ものづくり、料理、科学・デジタルなど、幅広い分野への関心がみられます。各分野を最も興味のある分野として選んだ回答者の中では、「釣り」「キャンプ」「お菓子、ケーキ、デザート作り」「ゲーム、アプリ、ウェブサイト制作」なども上位に挙がっています。

3 楽しさと上達・成果の双方が大切にされています。

中学生では、「活動そのものを楽しみたい」寄りの回答が34.4%、「高い目標や結果を目指したい」寄りが31.8%、「両方を同じくらい大切にしたい」が33.8%と、ほぼ同程度でした。また、「一つの活動を深く学びたい」寄りの回答は44.2%、「決まったメンバーで継続したい」寄りは54.6%でした。活動の楽しさを大切にしながら、継続して取り組み、技術や能力を高めたいという希望にも応えることが求められます。

4 本人の関心に応じて、安心して参加できる条件が重視されています。

活動を選ぶ際に大切な条件として、「自分が本当にやりたい活動であること」が小学生で77.5%、中学生で84.0%と最も高く、次いで「友達と一緒に参加できること」「初心者でも参加できること」が挙がりました。また、中学生では、今の友達と一緒に参加することや、学校・自宅の近くで活動することを望む回答も多く、活動内容とともに、人間関係や活動場所への配慮も重要です。

今後の活動の充実に向けて

これらの結果を踏まえ、継続して一つの活動に取り組み、技術や能力を高めたり成果を目指したりできる機会を大切にするとともに、多様な分野に触れ、楽しさや新たな関心を見いだせる機会も充実させていくことが重要と考えられます。その際には、本人の「やってみたい」という気持ちを起点に、友達と参加できることや初心者でも入りやすいこと、身近な場所で活動することなどに配慮し、子どもたちが自分に合った活動や参加の仕方を選べる環境づくりにつなげていきます。